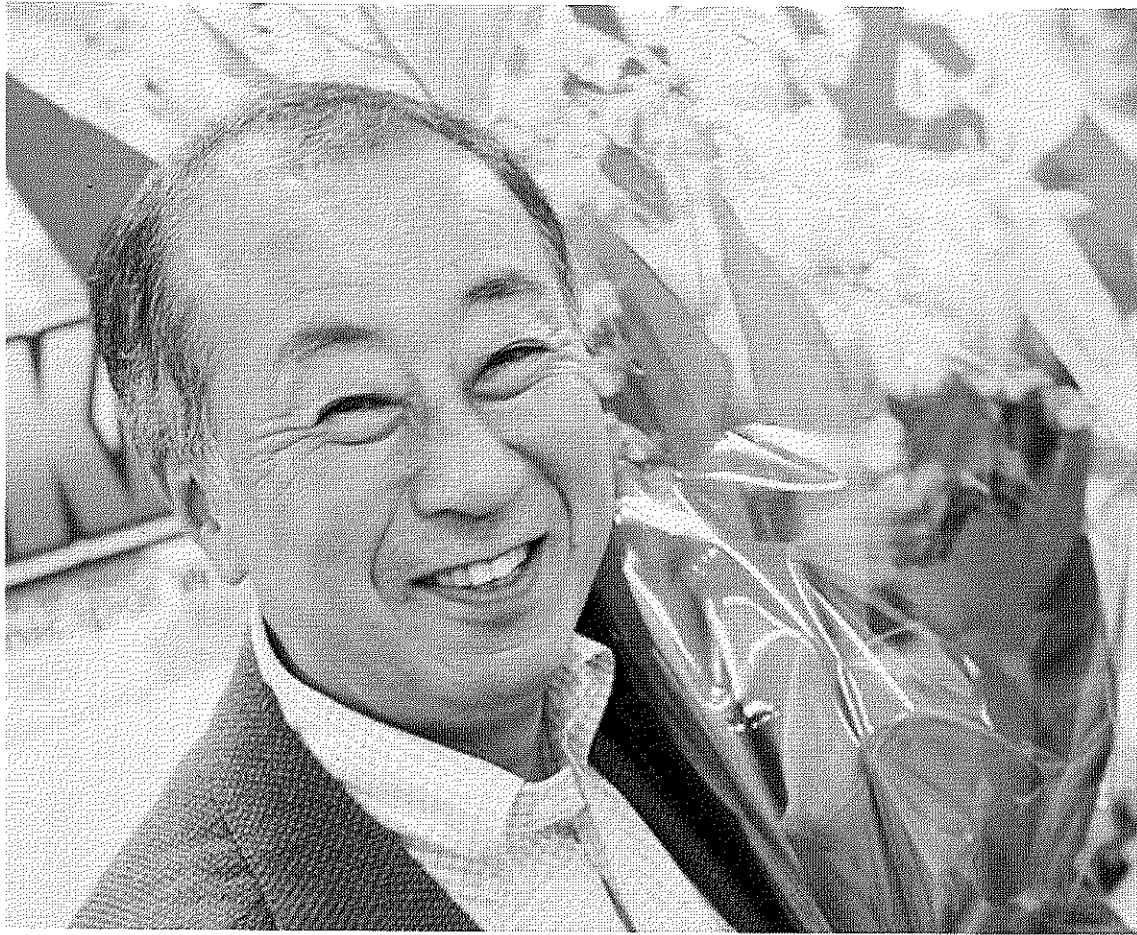


# えさきたかし再選

## 第24回参議院選挙(組織内比例区)



第24回参議院選挙が7月10日に投票された。わが組合は、自治労組織内候補の比例代表「えさきたかし氏」の当選へむけて全力で支援し、18日間の選挙戦を闘った。厳しい選挙戦であったが、184,187票と前回選挙を大幅に上回る得票数を得て2期目の当選を果たした。また選挙区では、わが組合が推薦した3名がいずれも当選を果たした。

今回の参議院議員選挙 政治、から、民主主義を取 候補者の一本化を図るなどは、立憲主義否定・民意軽視 戻す闘いとして、民進党と、「野党共闘」のもと進められた選挙戦であった。



東京清掃労働組合  
千代田区飯田橋3-9-3  
TEL (3237) 9995  
1部20円  
編集責任 企画・総務局 多田修一

### わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

東京清掃としてもこの選挙を、安倍政権の集団的自衛権行使の為の解釈改憲、昨年の安保法強行採決、原発再稼働などの暴走が遂に憲法改悪へと進むのか、歴史の分かれ道と位置付けるとともに、改選勢力に3分の2をとらせないことを最大の課題として選挙闘争を取り組んだ。厳しい選挙戦であったが、比例代表では自治労組織内候補である「えさきたかし氏」は、前回の個人票を大幅に上回る184,187票の得票数を得て議席を死守し、自治労における政治的影響力を維持することができた。えさきたかし氏は当選後、「安倍政権は、憲法改正を確実に、政治日程を上げ、地方交付税などの地方財政の削減や中央集権化をより進めるだろう。私に票を投じてくれた



小川敏夫さん4期目当選  
新 小川敏夫 代表  
岡田克也 東京選挙区  
さった皆さんの声を国会に届け、必ず安倍政権の暴走に歯止めをかける。この国の地域を守り、住民生活を守り、この国の医療・福祉、

7月12日、「支援共闘会議」が会社に対する要請行動を支援するために、多くの自治労や地域の仲間が結集し、昭和運輸本社前での社前集会を行いました。冒頭、宮本議長から闘いの経過についての報告

## 「昭和運輸不当解雇撤回闘争」社前集会 7月12日貫徹

葛飾区にある清掃の雇上会社「昭和運輸(株)」は、長年にわたり会社と御用組合が一体となって、自社の従業員の使用や労働条件を支配する横暴な運営を続けてきました。こうした状況を少しでも改善しようと、4年前に自治労・公共サービスクリア労働組合昭和支部が結成されましたが、これを嫌った会社側は若い労働者3人を不当解雇するという暴挙に出ました。不当解雇を受けた3人は、決して泣き寝入りなどせず闘うことを決意、御用組合と昭和運輸を相手に不当解雇撤回を求めて裁判を起すなど、懸命の闘いが続いています。



不当解雇された非正規労働者の職場復帰の闘いを支援しよう  
本議長から闘いの経過についての報告とともに「正義は間違いなく我われにある。闘いは非常に重要な局面となっている。引き続きの支援と共闘をお願いする」と挨拶されました。東京清掃を代表して坂本副中央執行委員長は、「清掃事業は、区民の安全・安心な住環境を保障する公共サービスでありました。

最後に、推薦候補者の当選にむけた組合員すべての皆様のご奮闘に敬意を表するとともにご協力に深く感謝致します。(渡辺 歩)



# 区民サービスの向上と労働条件の維持向上

## いま No.16

### 清掃事業は...

#### 江戸川区

## 高齢化社会 へ向けて



「小型強制排出車」による不燃収集



「自作カッティングカー」は整備職組合員の自慢

### 燃やさないごみ収集全域直営に

江戸川区では2年前に小松川清掃事務所が分室化され、葛西・小岩の2所と1分室という体制になっています。職員数は収集139名・運転36名・整備2名・統括技能長3名・技能長22名・再任用17名・非常勤6名の合計225名です。2000年の採用を最後に新規採用は行なわれておらず、30代の組合員はわずかに3名しかいません。

退職不補充方針のもと、資源・粗大が委託化され、2010年には燃やさないごみが全域車付雇上されました。支部としては苦渋の判断をしたにもかかわらず、翌年には燃やさないごみも車付雇上が導入され拡大している状況です。車付雇上率は

### 戸別専門班も視野に入れ検討

江戸川区の人口は増加傾向にあり平成26年度には68万人に達しています。資源化やごみ減量への取り組みの結果、人口の増加に対し、ごみ量は減少しています。これは現場で働く組合員と区民の協働による成果にほかなりません。

また65歳以上の高齢者の人口が特に急増しており、全体の20%に達しています。現時点での戸別訪問収集は900軒を超え、今後も粗大ごみの運び出しとあわせて、ますます需要が拡大していくことは間違いありません。

これからもよりサービスの向上を図るため、戸別専門班も視野に入れ検討していく必要があります。

清掃事業は、社会情勢や地域の状況に合わせて、柔軟にサービスを変化させてきました。今後も住民に近い現場としての立場から、何が求められているのか見極めつつ変化していくことは必要だと思います。また様々な取り組みを模索しつつも組合員の労働環境を守っていくことも重要です。その時々でどちらに比重を置くべきかという問題もあるかもしれませんが、支部としてしっかり協議をしながら、労働条件の維持向上を図るとともに将来においても安定した公共サービスを提供していく必要から新規採用獲得に向け取り組んでいきます。

(江戸川区 多田修一郎)

## 2016年度 第19回ボウリング大会を開催 (17チーム68名が参加)

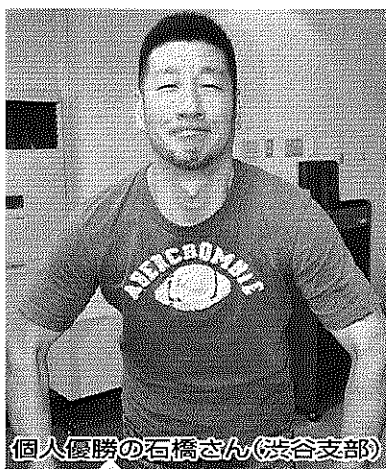
### 「チーム戦」 第二地連Bチームが優勝 「個人戦」石橋比呂志さん(澁)が392点でトップ



懇親会での交流



優勝した第三地連Bチーム



個人優勝の石橋さん(澁谷支部)

個人戦			
順位	氏名	支部	総得点
1	石橋 比呂志	澁谷	392
2	関上 徹	北	380
3	工藤 竜也	文京	376
4	磯部 満	板橋東	361
5	中臣 好男	多摩川自	358
6	新井 則行	板橋西	353
7	渋谷 浩志	板橋西	351
8	野一色 達也	文京	348
9	高島 稔	中央	343
10	中村 廣志	北	339

チーム戦		
順位	氏名	総得点
1	第三地連Bチーム	332.8
2	第二地連Cチーム	326.3
3	第二地連Bチーム	325.0
4	第四地連Bチーム	311.5
5	第五地連Cチーム	295.8

6月25日東京ドームボウリングセンターにおいて、2016年度第19回ボウリング大会が開催されました。各地連の予選を経て選出された17チーム68名による白熱したゲームを制したのは、2ゲーム合計392点を叩きだした澁谷支部の石橋比呂志さんでした。またチーム戦は、個人優勝の石橋さん有する第三地連Bチームが優勝。惜しくも6・5点の僅差で第二地連Cチームが準優勝、さらに第二地連Bチームが三位を獲得しました。ゲーム終了後、熱戦の余韻さめやらぬなかSKホール 第20回大会に向けてさらに腕を磨いて盛り上げていきましょう。

(西村好勝)

### 「ひとこと」

▼去る5月27日、オバマ氏がアメリカの現職大統領として初めて広島訪問した。時間のない中で平和記念資料館にも足を運び核兵器の悲惨さを多少なりとも実感したことと思う。その犠牲者に用意を示し慰霊碑に献花した。評価は様々であるが、歴史的な出来事である。

▼「核なき世界」を実現し二度と広島・長崎の悲劇を繰り返してはならない。被爆から70年以上が経過し実体験として、この事実を語る人が少なくなっている。

▼さて、語り継いでいかなければならないのは清掃事業も同様である。私たちが東京都時代から住民とともに脈々と築いてきた清掃事業がいま「ピンチ」を迎えている。様々な部門に委託の波が押し寄せ、国からの退職不補充方針を受け直営職員は減少の一途を辿り、先輩たちからの知識や経験、技能の継承が危ぶまれている。▼私たちは自治研活動を通じて住民ニーズを捉え、各区・一組の政策に繋げていくことで、直営職員の採用を勝ち取る必要がある。将来にわたって、質の高い清掃事業を住民と私達の後輩に引き継ぐための闘いはこれからが正念場だ。

(H・E)